

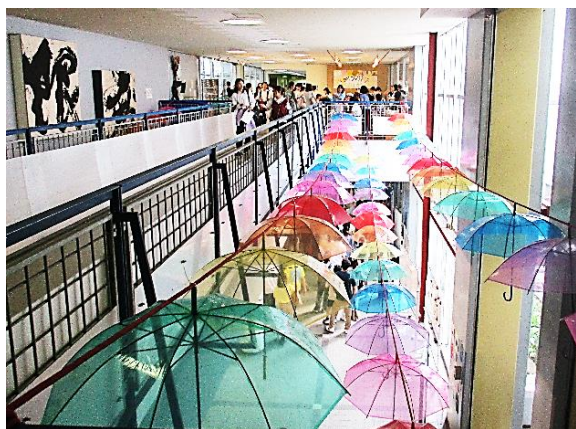


2年学年だより

発行日:令和7年9月30日(火)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:二上 直子 NO. 5



祭高到達点



校長代理 中澤 務

南高祭「舞台の部・展示の部」が、9月12日(金)から14日(日)に開催されました。今年のテーマは「祭高到達点」。生徒

の皆さんが、夏休み前から、そして休み中も続けて積み重ねてきた準備の成果が、一つひとつの場面に見事に表れました。13日(土)、14日(日)の一般公開には7000人近い方が来場される盛況ぶりとなりました。ご来場いただいた皆さま、日頃から生徒たちの活動を支えてくださっている保護者の皆さま・PTAの皆さま、同窓会の皆さま、後援会の皆さま、地域の皆さまに、改めて感謝申し上げます。

まず「舞台の部」。今年も各学年・有志の発表は迫力満点で、「序章」「花の章」から会場の空気を一気に引き込んでいました。音楽、ダンス、クイズやゲーム、工夫を凝らしたクラスCM、そして高校2年生の「風の章」での演技と映像、パフォーマンス…。多彩な演目が次々と披露され、その一つひとつに熱い声援や、感動の眼差しが送られていました。「憧憬の章」で登場したスカチャンさんやヨネダ2000さんは、ステージを終えてお帰りの際、会場の盛り上がりぶりに「生徒が本当に素晴らしい！」と言葉を残してくださいました。ステージとフロアが一体となった空間は、南高祭ならではの熱気に包まれていました。

「展示の部」では、学校全体が活気にあふれ、フード販売や展示、アトラクション、部活動の発表など、どこを歩いても生徒の皆さんのおもてなしの心を感じることができました。2日目の朝、会場準備に取りかかる様子を見て、私は驚かされました。一人ひとりが役割を意識し、てきぱきと動く姿は、まるで経験豊富な従業員がお客様を迎える直前のようなようでした。生徒の皆さんの成長を感じました。会場を後にする方から、「楽しかった」「ありがとうございました」の声をたくさんいただきました。皆さんの誠実で丁寧な対応が、多くの人に温かい思い出を残したのだと思います。片付けも素晴らしかった。大規模な行事の後にはどうしても疲れが見えるものですが、生徒の皆さんは最後まで協力し合い、撤収作業を進めてくれました。その姿は、準備や本番の華やかさにも劣らない、大切な「南高祭の一部」であったと感じます。

南高祭を通して改めて実感したのは、行事の成功を支えているのは、一人ひとりの熱心な姿勢と、仲間と力を合わせようとする気持ち、「みんなで創ろう」ということです。舞台に立った人、会場を整えた人、運営を支えた人、それぞれが互いに信頼し合い、協力することで、みんなの心に残る行事になったのでしょう。

附属中2年生はイングリッシュキャンプ、3年生は沖縄研修旅行を控えています。南高祭で育んだ友情と協力の姿勢を、次の行事や授業、さらには日常生活の中にもいかしてほしいと思います。皆さんがそれぞれの場面でさらに「到達点」を更新していくことを期待しています。

